

Wediboard 施工要領

アプリケーションガイドライン (ウエディ施工仕様書)

はじめに

- 1) 取り付ける下地はしっかりとした構造体である事。
- 2) 構造体の表面はゴミやほこりその他不純物のない事
- 3) 下地に湿気が残っている所では残留水分が1%以下である事
- 4) 石膏ボード、石膏セメント材にも施工可能
- 5) 既存のタイルなどの平滑な表面にも施工可能
- 6) 凹凸の激しい壁面や床でも適切なパテ材などでレベリングする事で施工可能

- 7) 資材の保管について ; 厚みに関係なく水平なところに保管してください。
- 8) 直射日光の長時間曝さない様にしてください。
- 9) 湿気の多い所には保管しない様にしてください。
- 10) 溶剤を使用する環境には曝さないようにしてください。
- 11) 様々な技術テストを経て実用化し商品化されていますが、法的な感覚で保証しているわけではありません。
- 12) 素材の品質以外に施工上の基本が重要な鍵となっています。

※上記に記した施工について条件として通常的生活環境で屋内の目的で使用してください

水泳用のプールや冷蔵倉庫などの特殊な用途についてはウエディ本社の技術室に相談してください。

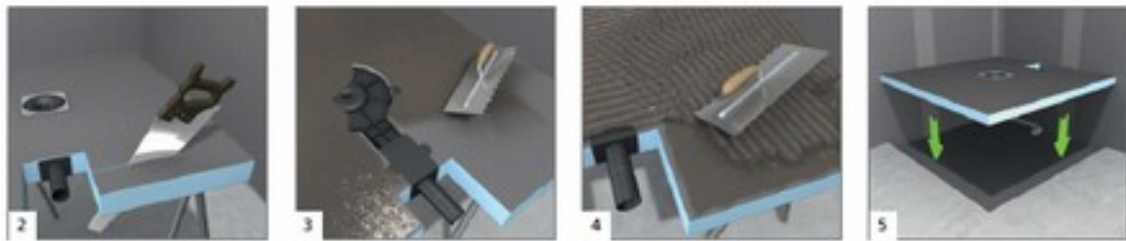
床ボード

床 wedi フンドシリーズの取付方法

- 1) 排水配管経路の確認及び確保をして下さい

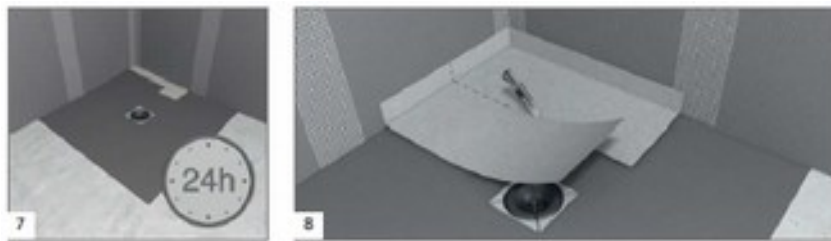


- 2) フンドプレーノ背面に接着剤を塗り広げて下さい。

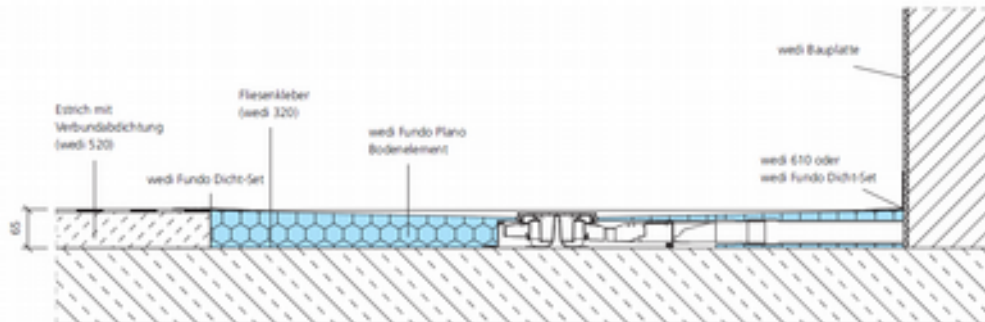


- 3) 排水配管にかきこんだ部分に防水モルタル等を流し込み、塞いで下さい。

塞いだ後に wedi610 を塗りガラス繊維テープを乗せ、もう一度 wedi610 でガラス繊維テープをしっかりと覆うまで塗布して下さい。
その後専用不織布を wedi610 で貼りつけてカバーして下さい。



Fundo Plano, integrierter Ablauf waagerecht, DN 40, Estrichfußboden

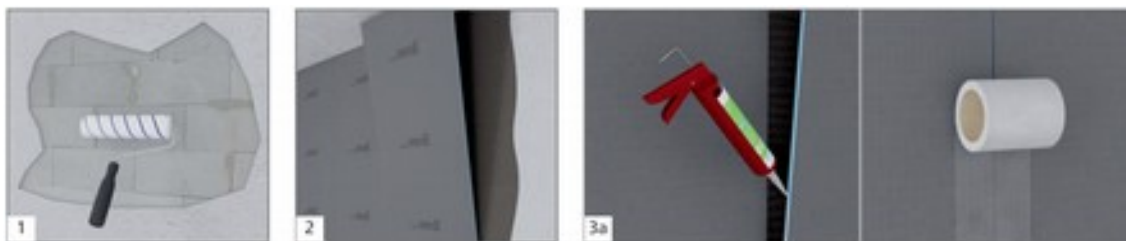


床ボード断面図

壁ボード

壁ボード施工方法

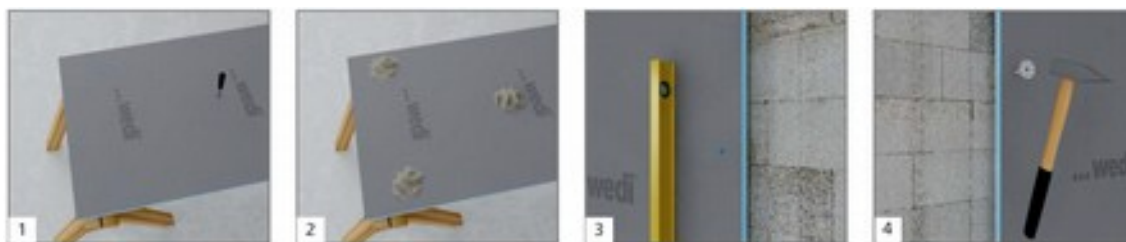
a, 建築壁に直接貼りつける場合の施工方法



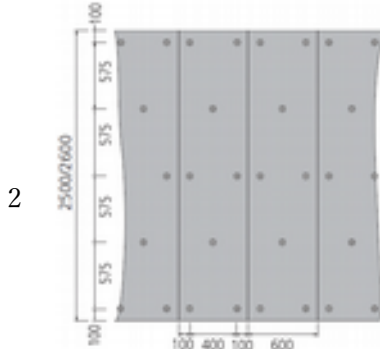
- 1 wedi を貼り付ける建築壁を平滑にしてください。
- 2 wedi ボードを貼り付ける箇所にセメントやボンド等を塗り伸ばして wedi ボードを押し付けて固定して下さい。
- 3 wedi ボードと wedi ボードの接合部に wedi610 塗布して wedi ボードを押し付けて下さい。※表面に溢れるくらい塗布して下さい。

その後ガラス繊維テープで接合部を覆い wedi610 を再度塗布しガラス繊維テープが隠れるようにして下さい。

b, 不陸のある壁 or スタットに固定する場合の施工方法



- 1 張付け形状に wedi ボードをカット



- 2 図のピッチを基本としてダンゴを作ってください。

- 3 垂直を確認して下さい。
- 4 専用のアンカーを使用し固定して下さい。



- 4 wedi ボードと wedi ボードの接合部に wedi610 塗布して wedi ボードを

押し付けて下さい。※表面に溢れるくらい塗布して下さい。

その後ガラス繊維テープで接合部を覆い wedi610 を再度塗布しガラス繊維テープが隠れるようにして下さい。

器具取付用下地補強について



トリマー又はルーターを使用して下地厚の分だけくり抜いて下さい

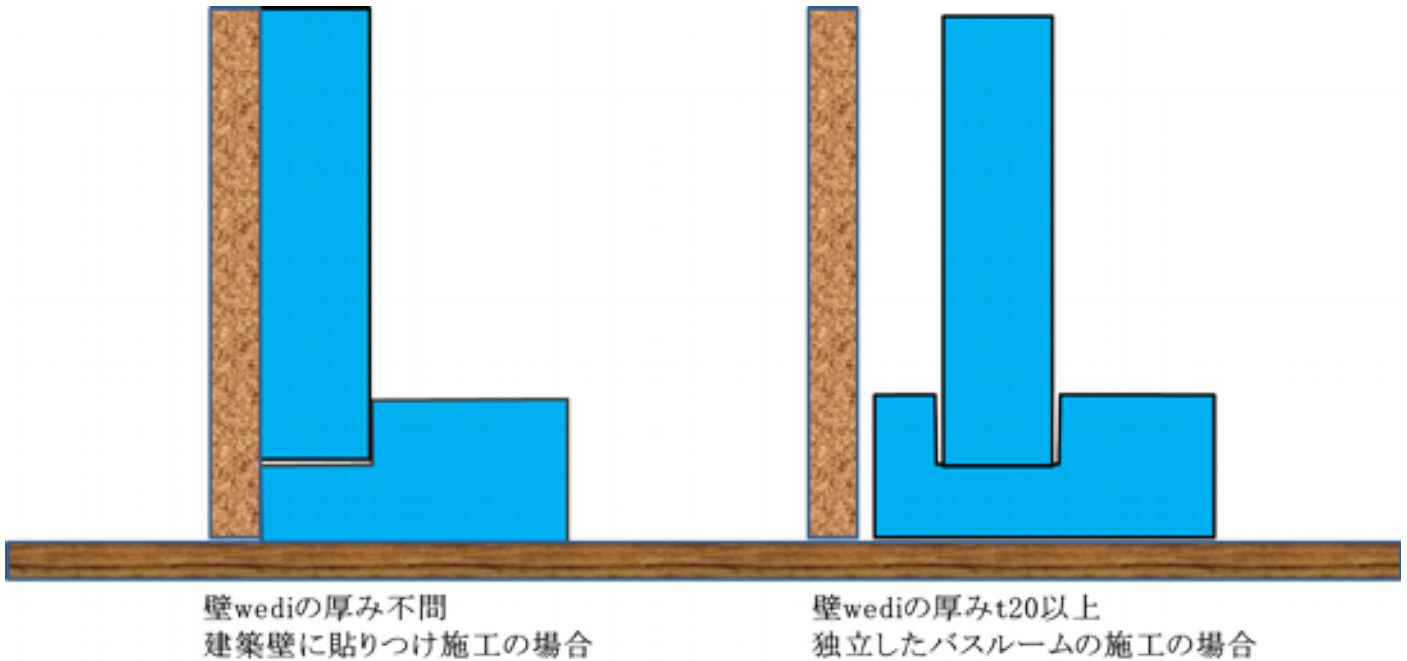
15 mmから 20 mm位の厚みの木片を埋め込みます。



くり抜いた部分に wedi610 を塗布し木片を固定します。その際、木片が wedi ボード面より出っ張らないように注意して下さい。



壁面・底面の施工について



- 1) 底面のwediボードにホゾ加工を行なって下さい。
- 2) wediボードとwediボードの接合部にwedi610塗布してwediボードを押し付けて下さい。
※表面に溢れるくらい塗布して下さい。
- 3) その後ガラス繊維テープで接合部を覆いwedi610を再度塗布しガラス繊維テープが隠れるようにして下さい。
- 4) wedi Tools tub sealing tapeの専用コーナー部材を壁床接合部にwedi610で貼り付けて下さい。

その他の施工について

洗面器や便器など重い物を支える時は本体壁面に固定用のアングルフレームを組み合わせてください。

この時タイルの厚みは7mm以上外寸で10cm x 10cmの物を選んでください。

小さいタイルは集中荷重によりダメージを受ける場合があります。

石鹸受けやトイレロールなどの軽量の物は直接アンカーで固定出来ます。

固定用にキャビティアンカーを使ってください。

4mm、6mm厚のウェディボードを使用するときは器具の背面は接着剤をタイル全面に施してください。

部分的に接着剤を使う事の無い様にしてください。

仕上工事として

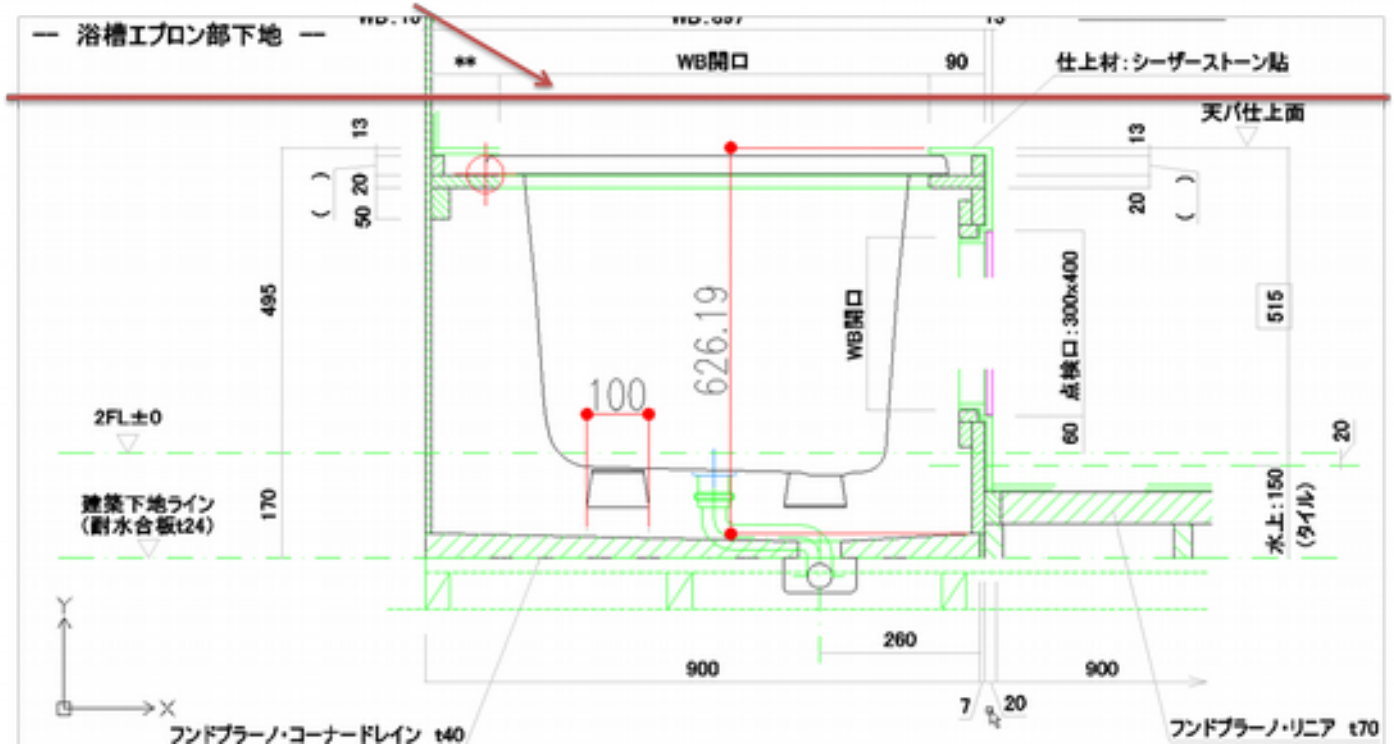
タイル工事：ウェディボードの表面にそのまま施工できます。

プラスター仕上げ：仕上げ材に石膏を含む成分が有るときはメーカーの仕様書をよく読んで参考にしてください。

バスルーム施工基準として

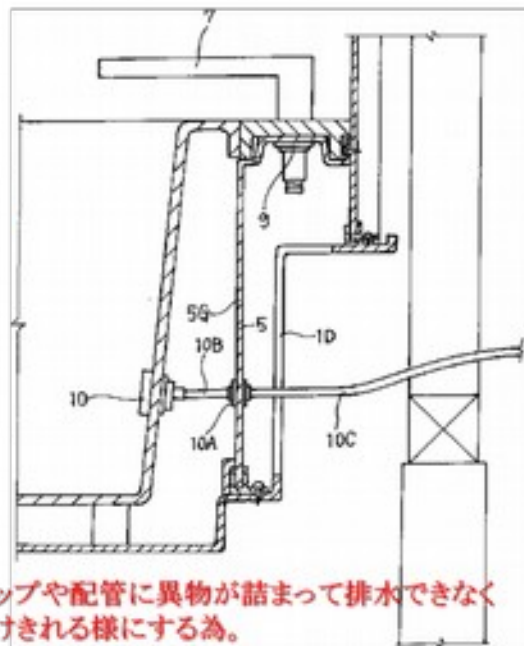
壁面施工について、底面からH500以下に水平接合部をもうけないでください。

この場合は、バスデッキから+100



貫通部（追い焚き配管・バス水栓用配管）はステンレスプレートに貫通金物を挟み込みで収める。

貫通部（追い焚き配管・バス水栓用配管）はステンレスプレートに貫通金物を挟み込みで収める。



貫通用のステンレスプレートの設置高さ最低H200以上とする。

※H200以上上がってれば、万が一排水トラップや配管に異物が詰まって排水できなくなった場合でも、浴槽用防水パンで1500は受けきれれる様にする為。

※浴槽用防水パンサイズ1600×800として

バスルーム施工後のテストについて

1) 施工後水張りテストを必ず実施する。

・洗い場側：水上+5 mm

・浴槽側：水上+200 mm

※丸一日水張りをして蒸発分を差し引いた水位が保たれている事を確認する。

2) チェック箇所

・排水トラップ廻り

・パネル接合部

・貫通金具廻り

・その他、パネル面目視